

事前審査対策を詳説

日合協近畿地区連絡
協議会、技術講習会

日本アスファルト合材協会（日合協）近畿地区連絡協議会（八田邦裕会長）は11日、大阪市中央区のエルおおさかで「2024年度技術講習会」を開いた。写真。約80人が受講し、アスファルト混合物の事前審査対策などを学んだ。

冒頭、八田会長は「合材工場はプラントのオペレーターと試験室の両輪で運営されている。事前審査は普

段から地道に試験している力試しの重要な機会だ。しっかりと勉強して質の高い合材を卸せるように努力した



い」と述べた。

講習では同協議会の奥村武技術委員（前田道路関西支店）が「事前審査受審のための講習」と題し、指摘事項を減らすための対策などを解説。日合協技術部会の加納孝志氏（大成ロテック）は「再生舗装便覧の改定について」をテーマに、舗装分野の再生利用の現状や改定のポイントなどを説明した。

